

ドライスキンのメカニズムを探る

東京女子医科大学皮膚科

川島 眞



正常な皮膚は、角層によって覆われ、その角層は、体内成分の漏出防止と外界の病原体や刺激から生体を守る重要な役割を担っている。この外界との接点で生体を守る角層は、水分保持とバリアー機能を司る役目を果たしており、その重要性が再認識されている。

最近になり、アトピー性皮膚炎患者の皮膚では、乾燥、及びバリアー機能の低下が根底にあり、発症に大きく関わっていることを伺わせる研究発表があり、注目されている。

本篇では、アトピー性皮膚炎と皮脂欠乏性湿疹を例にとり、角層の異常と病態について紹介する。

(1997年2月制作)

